

シンポジウム

海外の構造基準と耐震設計の事例紹介

—国際的な動向の概観と、設計事例に即した基準の特徴の理解のために—



日本と海外の構造基準は、基礎的な工学技術は共通であるが、構成(組み立て方)、設計手順、検証法などが大きく異なっている。また、地震地帯の開発途上国では欧米の構造基準を参考に構造基準を策定する国が、近年急速に増えている。こうした中、日本建築学会CIB委員会地震防災小委員会では、開発途上国を中心とした海外の構造基準の策定の状況、その基礎となっている欧米の構造基準について、調査研究を行い、建築学会大会などにおいて成果の発表を行ってきた。今般、一般社団法人建築・住宅国際機構の協力を得て、ISO、欧米などの耐震基準関係の報告を加えることにより、海外の構造基準の国際的な動向の概観と、構造基準の概要と、設計事例に即した基準の特徴の理解を深めるためのシンポジウムを開催する。

発表内容

海外主要国の構造基準の概観(ISO, EU, 米国)	石山祐二/北海道大学名誉教授
東南アジア等の構造基準の状況	加藤秀弥/鹿島建設
フィリピンの構造基準(アメリカ準拠)の概要	北茂紀/北茂紀建築構造事務所
フィリピン基準によるRC設計事例の比較	佐久間順三/設計工房佐久間
フィリピン基準による大空間鉄骨造の設計事例の紹介	倉田高志/新日鉄住金エンジニアリング
TBI(アメリカの超高層ビルの耐震性能設計ガイドライン)の概要	池田周英/竹中工務店
米国の構造基準によるRC設計事例の紹介	岡本隆之祐/山下設計
開発途上国の地震被害の実態、課題と支援の概観	檜府龍雄/(独)国際協力機構



日時: 2017年11月29日(水) 14:00~17:30 (受付13:30~)

会場: 建築会館会議室301+302

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

JR田町駅、都営地下鉄三田駅(浅草線・三田線)徒歩3分

参加費(資料代含む): 会員/後援団体会員1000円、非会員2000円、学生800円

* 事前申込必要: 催し物名称を記し、氏名・勤務先・所属・同住所・同電話番号を明記し

WEB申込(先着順) <http://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=602841>

主催: 日本建築学会 CIB委員会地震防災小委員会

協力: 一般社団法人 建築・住宅国際機構

後援: 一般社団法人 日本建築構造技術者協会(JSCA)

公益社団法人日本建築士会連合会

CPD: 3単位